

令和4年度事業計画

前期から取り組んでいた協会の運営体制の見直しにも目途が立ち、代表理事と業務執行理事を中心とした迅速な意思決定とガバナンスの効いた新執行体制がスタートします。

また、事業においては2年に一度の主力事業である「日本パッケージデザイン大賞 2023」の募集や選考を実施するとともに、「日本パッケージデザイン学生賞」を創設し、パッケージデザインの将来を担う若い世代の参画や育成にも取り込んでまいります。

I. 公益事業

1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

(1) 調査・研究事業

2021年度より取り組みを始めた委員会分科会活動を推進する。全体共通テーマ「SDGs とパッケージデザインの関わり」を基本に、ユニバーサルデザイン／ローカルパッケージ／若い世代の商品選択、それぞれについて分科会で情報収集・整理を進める。

今期は研究準備活動を中心とするが、ライブラリーサイト「情報の森」を活用した情報発信も適宜行う。

(2) 広報事業

未だコロナ禍で予断を許さない状況の中、JPDAの活動やパッケージデザインの魅力を発信することで会員はもとより一般の方への希望となり活力となる広報誌を目指す。アニュアルマガジンとして年に一度の発刊とする。

(3) インターネット事業

インターネット等のメディアによるJPDAの広報活動、及びマイワークスの運営。今年度は、前年度より開始したニュースリリース配信を活用し、日本パッケージデザイン大賞 2023をはじめ主要事業の情報発信に注力する。また、国際化推進の一環として、英語ページでの発信機能を強化する。

2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

(1) 日本パッケージデザイン大賞

今期は、「日本パッケージデザイン大賞 2023」に向けた作品募集、作品審査、贈賞式などの準備、運営の年とする。

なお、日本パッケージデザイン大賞の大賞・金賞作品受賞者へのインタビュー録画「声のアーカイブ」の会員ページへの掲載を含めて、大賞・金賞のアーカイブ活動(収集・保管及び研究・記録)を継続して行う。また、アーカイブ第4回セミナーの実施を計画している。

(2) パッケージデザイン功績賞

今期は、2年に一度の功績賞贈賞の谷間に当たることから贈賞はしない。一方、今期は来期の贈賞に向けて、協会員を対象とするか等を含めて候補者選考基準をブラッシュアップし、パッケージデザインの向上を目指す公益活動の一環として、パッケージデザイン功績賞の位置づけや、贈賞の意義を明確にしていく。

(3) 日本パッケージデザイン学生賞

パッケージデザインの世界に、より新鮮で多様な価値をもたらし、将来を担うであろう学生に焦点を当て、今期に「第一回日本パッケージデザイン学生賞」の贈賞を実施する。

2022年4月 学生賞サイトオープン／4～6月 学生賞を見据えたセミナー&ワークショップ
7月 予選(一次審査)／9月末 決勝(二次審査)、結果発表／12月オンライン授賞式

3. パッケージデザインに関する展覧会事業

今期は、2023 年に新たな展覧会を開催するための準備の年と位置付け、新たな企画を立案する。

4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

(1) セミナー事業

(a) オンラインセミナー

パッケージデザインに関する専門知識や見識をさらに高めることを目的として、海外のデザイン事情・現状などを海外在住邦人デザイナー、もしくは海外デザイナーから実際に聞いたりディスカッションしたりできるオンラインセミナーを開催する。

(b) 東日本

「トークカフェ」を開催。若手中堅デザイナーを対象にしたパッケージの新たな可能性をテーマにしたセミナーイベント。今期は日本トップクラスのカリグラファーを招き、文字の美しさ、力強さを理解することでさらに知識を深める。ワークショップ・トークセッションを通じて参加者同士の交流も図る。

(c) 西日本

Vol.1…「有料オンラインによる勉強会」 人気高い講師によるデザインに関するセミナーを開催する。

Vol.2…「有料 リアル見学会」 パッケージに関連する工場等の施設を見学するイベントを実施する。

(d) 中日本

愛知・岐阜…「日本パッケージデザイン大賞」名古屋巡回展 2023 とセミナーを開催する。

北陸①…富山市主催の「パッケージデザインコンペティション」入賞作品展及び、JPDA 北陸会員作品展を実施する。

北陸②…次世代のパッケージ業界を担う若手デザイナーと学生を対象としたトークイベントを開催する。開催地を富山と金沢を隔年で変更することにより各地域のデザイナーと学生の交流を活性化している。

(2) 権利保護事業

今期も、Web サイト、SNS を通じた、パッケージデザインに関連する知的財産権についての事例研究や各種セミナー・勉強会等の情報発信をする。4 回実施予定で、うち 2 回は外部弁理士による寄稿を予定している。

また、意匠法改正に伴い、デザイン保護ハンドブック改定版を 2023 年度に発行するための内容の精査、原稿の準備を行う。

(3) 育成事業

パッケージデザイナー、ディレクター、その他パッケージデザインに関わる方々を対象に、単なるデザインのスキル伝授に止まらず、デザイン領域におけるマネージメント力を養成したり、コンセプトワークやプレゼン力を向上させることを目的に、前期に好評裏に終了した「パッケージデザインの学校」をさらに実用性・魅力を高めて開催する。

5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

(1) 全国会議事業

オンライン交流会…前期に計 7 回開催した「みんなでつなごうデザインの輪」が、会員はもとより、一般参加者からも好評だったため今期も継続開催する。今期 3 回開催予定。

(2) 新年交流事業

(a) 東日本

新年を機に、デザイナー同士及び一般の人たちとの交流を意図して、新年交流会を東京で実施する。第1部は講演会、第2部は交流会とするなど、情報発信及び情報収集の場として、特に若手や中堅層も参加しやすい魅力ある内容に見直して実施する。

(b) 西日本

「有料オンラインセミナー&対面でのデザイン交流会」 オンラインでセミナーを開催。

その後、西日本会員を中心とした対面での交流会を開催する。

(3) 国際交流事業

パッケージデザインの発展と国際化に向け、教育事業として行ってきた海外オンラインレポートの発展型プログラムとして、月4回(週1回)世界各地からのオンラインデザインレポートを国際交流の位置づけで実施する。若い世代が世界のデザインに目を向けるきっかけ作りを目的とする。

(4) 東日本大震災復興支援事業

東北地方の復興支援の一環として、今期も引き続き、経済産業省東北産業局主催の「おいしい東北パッケージデザイン展」の展覧会、フォーラムなどの後援や、審査員の協力をする。

6. パッケージデザインに関する出版事業

パッケージは、生活消費財ゆえに、その歴史を商品のままで保存することが難しいことから、書籍として残している。今期は、日本パッケージデザイン大賞 2023 の入賞作品を収める「年鑑日本のパッケージデザイン 2023」の撮影や編集作業を進める。また、パッケージデザインの魅力を探る新企画「ステキなパッケージ」を出版につなげる。

II. 収益事業

アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成27年6月、(独)国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和2年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和3年3月をもって主催者であり事業の受託元であるアスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業も中止となっている。今年度は昨年度に続き、これに代わる新たな収益事業の探索・検討の年と位置づける。

III. 法人事業

総務事業

特になし

以上